

SoftBank 501TH

衛星電話

ユーザーガイド

THURAYA 



ご使用になる前に

本機のご使用前に、本書の安全上の注意と取り扱い説明をよくお読みになり、十分理解いただくことで衛星電話の機能を最大限にご活用いただけます。

安全のために

本機を安全にご利用いただくため、次のガイドラインをお守りください。



安全を確認してから電源をお入れください

携帯電話の使用が禁止されている場所、または携帯電話の使用により電波干渉や危険を引き起こす可能性がある場合は、本機の電源を入れないでください。



病院内での使用は各医療機関の指示に従ってください

医療機器の近くでは本機の電源をお切りください。



交通安全を最優先してください

本機のご使用にあたってはご使用になる地域の法律に従ってください。運転中は本機を手に持たないでください。運転中は常に安全運転を最優先してください。



飛行機内での使用は航空会社の指示に従ってください

ワイヤレス機器は、飛行機の運航および通信システムに有害な電波干渉を引き起こす場合があります。

付属品について

ソフトバンクが指定した付属品をご使用ください。

- 本機の修理を行わないでください。
- 電池パックをショートさせないようにご注意ください。端子をショートさせると、電池パックまたは接続された機器が損傷する場合があります。
- 60℃以上の場所に保管しないでください。
- ソフトバンクが指定した付属品以外の使用は危険です。電気仕様が異なる場合は本機に損傷を与えることがあります。指定品以外を使用して故障となった場合は、保証の対象外となります。



注意

- 指定品以外の電池パックを使用した場合、破裂する恐れがあります。
- 不要になった電池パックは、指示に従って廃棄してください。

ご使用になる前に

本機の取り扱いについて

下記の内容をよくお読みのうえ、正しくご利用ください。誤った取り扱いによる故障などが発生した場合、保証の対象外となり、修理できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- 機器が濡れた場合は、すぐに電池パックを取り外し、本機が完全に乾いてから電池パックを元に戻してください。液体や湿気(それらに含まれるミネラル分)により電子回路が損傷する場合があります。
- ほこりの多い場所や汚れた場所では使用および保管しないでください。ほこり、汚れにより本機の可動部および電子部品が損傷する場合があります。
- 高温になる場所に保管しないでください。高温環境で保管すると、本機の寿命が短くなったり、電池パックを損傷したりする原因となります。
- 著しく温度が低い場所には保管しないでください。本機が通常温度に戻った際に、本機の内部に結露が発生し、電子回路基板が損傷する可能性があります。
- 非対応のアンテナ、改造、および付属品の使用により、本機が損傷したり、無線装置に関する規制に違反する場合があります。
- 本機をサービスセンターに送る場合は、事前にデータ(電話帳、カレンダー等)のバックアップを必ず作成してください。

本機の使用上の注意

本機は、生活防水、防塵、耐衝撃性の性能を有しています。本機をご使用になる前に、次の部品が正しく取り付けられていることを確認してください。

- 外部接続端子／充電端子カバー
- 電池パック



- イヤホン端子カバー
- RFコネクタカバー



注意




これらの部品が正しく取り付けられていない場合、水やほこりが浸入し、誤動作や故障の原因となる場合があります。

安全上のご注意

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになったあとは大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。
- 本製品の故障、誤動作または不具合などにより、通話などの機会を逸したために、お客様、または第三者が受けられた損害につきましては、当社は責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

表示の説明







次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
 警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷※1を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「軽傷※2を負う可能性が想定される場合および物的損害※3のみの発生が想定される」内容です。

- ※1 重傷とは失明、けが、やけど（高温・低温）、感電、骨折、中毒などで後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものをいう。
- ※2 軽傷とは、治療に入院や長期の通院を要さないけが、やけど、感電などをいう。
- ※3 物的損害とは、家屋・家財および家畜・ペット等にかかわる拡大損害を指す。

絵表示の説明

次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。内容をよく理解したうえで本文をお読みください。

 禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
 分解禁止	分解してはいけないことを示します。
 水濡れ禁止	水がかかる場所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示します。
 濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示します。
 指示	指示に基づく行為の強制（必ず実行していただくこと）を示します。
 電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示します。

安全上のご注意

本機、電池パック、SIMカード、充電器の取り扱いについて(共通)

⚠危険



指示

本機に使用する電池パック・充電器は、ソフトバンクが指定したものを使用してください。指定品以外のもを使用した場合は、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、充電器の発熱・発火・故障などの原因となります。



分解禁止

分解・改造・ハンダ付けなどお客様による修理をしないでください。

火災・けが・感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックの漏液・発熱・破裂・発火などの原因となります。本機の改造は電波法違反となり、罰則の対象となります。



水濡れ禁止

本機内部・電池パック・充電器を濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ったときに、濡れたまま放置したり、濡れた電池パックを充電すると、発熱・感電・火災・けが・故障などの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。



禁止

本機と充電器を接続した状態で、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。

端子が破損した状態で充電すると故障や火災の原因となります。充電するときは、使用場所、取り扱いにご注意ください。



禁止

高温になる場所(火のそば、暖房器具のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内など)で充電・使用・放置しないでください。また、暖かい場所や熱のごもりやすい場所(こたつや電気毛布の中、携帯カイロのそばのポケット内など)においても同様の危険がありますので、充電・放置・使用・携帯しないでください。機器の変形・故障や電池パックの漏液・発熱・発火・破裂の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどなどの原因となることがあります。



禁止

本機に電池パックを取り付けたり、充電器を接続する際、うまく取り付けや接続ができないときは、無理に行わないでください。電池パックや端子の向きを確かめてから、取り付けや接続を行ってください。

電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。また充電端子を破損・焼損させる原因となります。

⚠警告



禁止

本機・電池パック・充電器を、加熱調理機器(電子レンジなど)・高圧容器(圧力釜など)の中に入れたり、電磁調理器(IH調理器)の上に置いたりしないでください。電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や、本機と充電器の発熱・発煙・発火・故障などの原因となります。

安全上のご注意



指示

プロパンガス、ガソリンなどの引火性ガスや粉塵の発生する場所（ガソリンスタンドなど）では、必ず事前に本機の電源をお切りください。また、充電もしないでください。

ガスに引火する恐れがあります。プロパンガス、ガソリンなど引火性ガスや粉塵の発生する場所で使用すると、爆発や火災などの原因となります。



禁止

落としたり、投げたりして、強い衝撃を与えないでください。

電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や火災・感電・故障などの原因となります。



指示

使用中、充電中、保管時に、異音・発煙・異臭など、今までと異なることに気づいたときは、次の作業を行ってください。

1. コンセントやシガーライターソケットから充電器を持ってプラグを抜いてください。また、高温になっている可能性があるためやけどに注意して、本機を取り外してください。
2. 本機の電源を切ってください。
3. やけどやけがに注意して、電池パックを取り外してください。

異常な状態のまま使用すると、火災や感電などの原因となります。



禁止

充電端子や外部接続端子に水やベットの尿などの液体や導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないようにしてください。また内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障などの原因となります。

⚠注意



禁止

ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

落下して、けがや故障などの原因となります。充電中は、特にご注意ください。



禁止

本機を充電器から取り外す際は、コードを引っ張らず、充電器のコネクタを持って取り外してください。

コードを引っ張るとコードが傷ついたり、端子の破損による火災や感電などの原因となります。



禁止

充電中は、本機・電池パック・充電器に長時間触れないでください。

低温やけどになる恐れがあります。



指示

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。誤って飲み込んだり、けがなどの原因となります。



指示

子供が使用する場合は、保護者が取り扱い方法を教えてください。

使用中においても、指示どおりに使用しているかをご確認ください。けがなどの原因となります。

安全上のご注意

電池パックの取り扱いについて

電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類を確認した上で、ご利用・処分をしてください。

⚠危険



禁止

火の中に投下しないでください。
電池パックを漏液・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

釘を刺したり、ハンマーでたたいたり、踏みつけたり、強い衝撃を与えないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



禁止

電池パックの端子に、針金などの金属類を接触させないでください。また、導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）と一緒に電池パックを持ち運んだり保管したりしないでください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パック内部の液が眼の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗い流し、ただちに医師の診察を受けてください。
失明などの原因となります。

⚠警告



指示

電池パック内部の液が皮膚や衣服に付着した場合は、ただちに本機の使用をやめ、きれいな水で洗い流してください。
皮膚に傷害を起こすなどの原因となります。



指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止してください。
電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

電池パックの使用・充電中・保管時に、異臭・発熱・変色・変形など、今までと異なることに気づいたときは、やけどやけがに注意して電池パックを取り外し、さらに火気から遠ざけてください。
異常な状態のまま使用すると、電池パックを漏液・発熱・破裂・発火させるなどの原因となります。



指示

ペットが電池パックに噛みつかないようにご注意ください。また、ペットが噛みついた電池パックは使用しないでください。
電池パックの漏液・発熱・破裂・発火や機器の故障・火災の原因となります。

⚠注意



禁止

不要になった電池パックは、一般のゴミと一緒に捨てないでください。
端子にテープなどを貼り、個別回収に出すか、最寄りの「ソフトバンクショップ」へお持ちください。電池を分別している市町村では、その規則に従って処理してください。

安全上のご注意

本機の取り扱いについて

警告



禁止

自動車、バイク、自転車などの乗り物の運転中には使用しないでください。

交通事故の原因となります。乗り物を運転しながら携帯電話を使用することは、法律で禁止されており、罰則の対象となります。運転者が使用する場合は、駐停車が禁止されていない安全な場所に止めてからご使用ください。



指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、本機の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ご注意ください電子機器の例

補聴器・植込み型心臓ペースメーカー・植込み型除細動器・その他の医用電気機器・火災報知器・自動ドア・その他の自動制御機器など



指示

航空機内では航空会社の指示に従い適切にご使用ください。

本機の電波により運航の安全に支障をきたす恐れがあります。



指示

心臓の弱い方は、着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える恐れがあります。



指示

屋外で使用中に雷が鳴りだしたら、ただちに電源を切って屋内などの安全な場所に移動してください。

落雷や感電の原因となります。



禁止

充電中は、本機を布や布団でおおったり、包んだりしないでください。また布や布団でおおった状態で、就寝しないようにしてください。

熱がこもって火災・やけど・故障などの原因となります。

注意



禁止

車両電子機器に影響を与える場合は使用しないでください。

本機を自動車内で使用すると、車種によりまれに車両電子機器に影響を与え、安全走行を損なう恐れがあります。



指示

本機の使用により、皮膚に異常が生じた場合は、ただちに使用をやめて医師の診察を受けてください。

本機では材料として金属などを使用しています。お客様の体質や体調によっては、かゆみ・かぶれ・湿疹などが生じることがあります。(使用材料:P.25)



禁止

本機に磁気カードなどを近づけないでください。

キャッシュカード・クレジットカード・テレホンカード・フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。



指示

本機を長時間ご使用になる場合、特に高温環境では熱くなることがありますので、ご注意ください。

長時間肌にふれたまま使用していると、低温やけどになる恐れがあります。



禁止

着信音が鳴っているときや、本機でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

安全上のご注意

充電器の取り扱いについて

⚠ 警告



禁止

充電中は、布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもって火災や故障などの原因となります。



禁止

指定以外の電源・電圧で使用しないでください。

指定以外の電源・電圧で使用すると、火災や故障などの原因となります。



電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、充電器を持ってプラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災・故障の原因となります。



電源プラグを抜く

万一、水やペットの尿などの液体が入った場合は、ただちに充電器を持ってコンセントからプラグを抜いてください。

感電・発煙・火災の原因となります。



指示

プラグにほこりがついたときは、充電器を持ってプラグをコンセントから抜き、乾いた布などでふき取ってください。

火災の原因となります。



指示

充電器をコンセントに差し込むときは、充電器のプラグや端子に導電性異物（鉛筆の芯や金属片、金属製のネックレス、ヘアピンなど）が触れないように注意して、確実に差し込んでください。

感電やショートによる火災・やけど・故障などの原因となります。



濡れ手禁止

濡れた手で充電器のプラグを抜き差ししないでください。

感電や故障などの原因となります。



禁止

雷が鳴り出したら、充電器には触れないでください。

感電などの原因となります。

⚠ 注意



電源プラグを抜く

お手入れの際は、コンセントから、必ず充電器を持ってプラグを抜いてください。

感電などの原因となります。



指示

充電器をコンセントから抜くときは、コードを引っ張らず、充電器を持ってプラグを抜いてください。

コードを引っ張るとコードが傷つき、感電や火災などの原因となります。



指示

充電器をテーブルタップに接続しているときは、踏みつけるなど外部から過大な力を加えないようにしてください。

火災や故障の原因となります。



禁止

充電器をコンセントに接続しているときは、引っ掛けるなど強い衝撃を与えないでください。

けがや故障の原因となります。

安全上のご注意

医用電気機器近くでの取り扱いについて

ここで記載している内容は、「医療機関における携帯電話等の使用に関する指針」(電波環境協議会 [平成26年8月]) および「各種電波利用機器の電波が植込み型医療機器へ及ぼす影響を防止するための指針」(総務省)の内容を参考にしたものです。

警告



指示

植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、ペースメーカー等の装着部位から15cm以上離して携行および使用してください。電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

電波により植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。



指示

自宅療養など医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカーなどに確認してください。電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。



指示

医療機関などでは、以下を守ってください。本機の電波により医用電気機器に影響を及ぼす恐れがあります。

- ・医療機関内での携帯電話の使用においては、各医療機関からの指示に従ってください。
- ・手術室、集中治療室 (ICU) などでは、本機の電源を必ず切ってください。
- ・病室・ロビーなど使用を許可されたエリアでも、近くに医用電気機器がある場合は、必要な離隔距離を確保してください。



指示

付近に植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、身動きが自由に取れないほど混雑した状況等、15cm以上離隔距離を確保できない恐れがある場合には、事前に通信機能が使用できない状態 (例: 機内モード) に切り替えるか、または携帯電話の電源をお切りください。電源が自動的に入る設定 (アラーム機能など) をしている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

電波により、植込み型心臓ペースメーカーおよび植込み型除細動器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

はじめに

お買い上げ品の確認

パッケージには次の商品が含まれています。



SoftBank 501TH
本体



電池パック



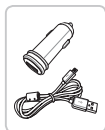
充電器



イヤホン



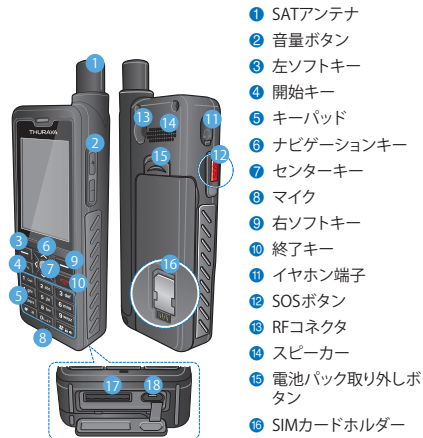
データケーブル



車載充電器

- ユーザーガイド(本書)
- 保証書(本体、充電器)
- サポートCD


各部の説明



- 1 SATアンテナ
- 2 音量ボタン
- 3 左ソフトキー
- 4 開始キー
- 5 キーパッド
- 6 ナビゲーションキー
- 7 センターキー
- 8 マイク
- 9 右ソフトキー
- 10 終了キー
- 11 イヤホン端子
- 12 SOSボタン
- 13 RFコネクタ
- 14 スピーカー
- 15 電池パック取り外しボタン
- 16 SIMカードホルダー
- 17 外部接続端子
- 18 充電端子

はじめに

電源オンとネットワーク接続

 を2秒間長押しし、本機の電源を入ると、ネットワークを検索し、位置情報を取得します。衛星信号アイコンが点滅している場合、位置情報の受信中で、点滅が停止すると、通話やメール送信が可能になります。ネットワークに接続されると、本機のディスプレイには国または地域と信号強度が表示されます。

ホーム画面



The image shows a smartphone home screen with the following elements:

- Top status bar: Signal strength, Wi-Fi, Bluetooth, battery, and time.
- Background: "Thuraya Country" with a satellite signal icon.
- Time: "08:05 PM" and date "01.01.2015 11日".
- Bottom dock: "メニュー" (Menu) and "電話着信" (Incoming Call).

Surrounding the screen are various status icons and notifications:

- 衛星信号** (Satellite Signal): 衛星信号 (Satellite signal), 信号が弱い場合、表示されます。衛星にアンテナを向けてください。 (Signal is weak, displayed. Please point the antenna towards the satellite.)
- 通話中** (Call in progress): 通話中 (Call in progress), スピーカーホン (Speakerphone), ミュート (Mute), マナーモードオン (Manner mode on).
- イヤホン接続済み** (Headset connected): イヤホン接続済み (Headset connected), 暗号化 (通話暗号化) オフ (Encryption (call encryption) off).
- 転送電話設定中** (Call transfer setting): 転送電話設定中 (Call transfer setting).
- GmPRS接続中** (GPRS connection): GmPRS接続中 (点滅) (GPRS connection (blinking)), GmPRS一時停止 (GPRS temporary stop).
- ネットワーク情報** (Network information): ネットワーク情報 (Network information).
- ステータスバー** (Status bar): ステータスバー (Status bar).
- 利用可能なソフトキー機能** (Available soft key functions): 利用可能なソフトキー機能 (Available soft key functions).
- SOS通知** (SOS notifications): SOS SOS通話中 (SOS SOS call in progress), SOS SOS発信中 (SOS SOS outgoing call), SOSメッセージあり (SOS message available).
- 未読SMSあり** (Unread SMS): 未読SMSあり (Unread SMS available).
- ボイスメール** (Voice mail): ボイスメール (Voice mail), ボイスメール+SMS (Voice mail + SMS).
- SMS受信箱が一杯** (SMS inbox full): SMS受信箱が一杯 (SMS inbox full).
- トラッキングメッセージ** (Tracking message): トラッキングメッセージ (Tracking message), トラッキングオン (Tracking on).
- アラーム設定中** (Alarm setting): アラーム設定中 (Alarm setting).
- スケジュールあり** (Schedule available): スケジュールあり (Schedule available).
- 外部デバイスとのデータ送受信** (Data transfer with external devices): 外部デバイスとのデータ送受信 (Data transfer with external devices).

はじめに

本機メニューの概要

メール

- 1 新規作成
- 2 受信ボックス
- 3 下書き
- 4 送信済みメール
- 5 送信ボックス
- 6 定型文
- 7 設定
- 8 メモリー状況
- 9 削除

電話帳

- 1 検索
- 2 新規登録
- 3 グループ
- 4 スピードダイヤル
- 5 コピー
- 6 削除
- 7 メモリー容量

発着信履歴

- 1 不在着信
- 2 着信履歴
- 3 発信履歴
- 4 削除
- 5 通話時間

ツール

- 1 カレンダー
- 2 電卓
- 3 メモ帳

時計

- 1 アラーム
- 2 ストップウォッチ
- 3 世界時計
- 4 日付/時刻

サウンド設定

- 1 着信音
- 2 鳴動パターン
- 3 操作音
- 4 起動音
- 5 音量

ネットワーク

- 1 ネットワークモード
- 2 優先接続先

セキュリティ

- 1 PINコード
- 2 パスコード
- 3 制限コード
- 4 ダイヤル制限
- 5 接続先限定
- 6 IMEIナンバー
- 7 ソフトバージョン
- 8 設定リセット
- 9 初期化

設定

- 1 端末設定
- 2 通話設定
- 3 GmPRS
- 4 言語環境
- 5 データ通信
- 6 セットアップウィザード

位置情報

- 1 現在地測位
- 2 位置情報
- 3 位置記録
- 4 位置情報システム

SOS

- 1 通話先
- 2 メール宛先
- 3 OSメッセージ(SMS)
- 4 送信間隔
- 5 表示形式

トラッキング

- 1 宛先
- 2 測定間隔
- 3 表示形式

本機の使用

通話

電話をかける

電話をかけるには、キーパッドで電話番号を入力するか、電話帳に保存された連絡先を選択し、**開始**キーを押します。

電話を受ける

電話を受けるには、**開始**キーまたは、キーパッドの任意のキーを押します。

通話中

通話中、**メニュー**から通話をミュートしたり、保留にしたりすることができます。

切替通話

通話中に電話がかかってきたときに電話を受けることができます。通話中に着信があったら(受話)を押します。

- (拒否)を押すと着信を拒否します。
- もともと通話中だった相手は保留状態となります。(メニュー)を押してメニューを表示し、「切替」を選択して通話相手を切り替えることができます。「複数のグループ」を選択すると接続中の相手全員と同時に通話できます。最大6人まで同時に通話可能です。

多者通話

- 1 通話中、**メニュー** > **通話を追加**に進むと、もともと通話中だった相手は自動的に保留になります。
- 2 他のユーザーに電話をかけます。
- 3 最初のユーザーを多者通話に追加するには、**メニュー** > **会議**に進みます。
ステップ1~3を繰り返すことで、多者通話に最大6ユーザーまで追加することができます。

! 補足

多者通話中、個別に話をしたい場合は、ユーザーを選択し、**オプション** > **プライベート**を選択します。それ以外のすべての通話が自動的に保留となります。

本機の使用

メール

メールメニューを使用することで、簡単にメールの閲覧・作成・送信が可能です。

メールの送信

- 1 新規メールを送信するには、**メニュー** > **メール** > **新規作成**の順で選択します。
- 2 メールを入力します。
- 3 受信者情報を追加します。
- 4 **メニュー** > **送信**を選択します。

! 補足

- 下記のキーで文字入力モードを変更できます。
*キー：文字と記号の切り替え
#キー：(日本語入力の場合) 全角ひらがな、全角カタカナ、半角カタカナの切り替え、(英語入力の場合) 大文字、小文字、数字、大文字+小文字の切り替え
- 予測文字入力を使用する場合は、**メニュー** > **AutoText**を選択します(英語入力のみ対応)。

メールの削除

メニュー > **削除**からメールを選択して、一度に1つのメールを削除します。受信ボックスや送信ボックス内などのメールをすべて削除するには、**オプション** > **メール** > **削除**を選択します。

電話帳

電話帳メニューでは、連絡先の登録、編集などができます。

連絡先の追加

- 1 電話番号を入力し、**センターキー**を押します。
または、**電話帳** > **新規登録**を選択します。
- 2 保存先(本体またはSIM)と電話番号情報を選択します。
- 3 名前と電話番号などを入力し、**保存**を押して保存します。

グループ管理

電話帳一覧で電話帳を管理する簡単な方法は、グループに追加することです。これによりグループごとに特定の着信音を設定したり、グループのメンバー全員にSMSを送信したりすることができます。連絡先をグループに追加するには、**メニュー** > **電話帳** > **グループ** > **グループ選択** > **メニュー** > **グループに追加**の順に選択します。

スピードダイヤルに連絡先を追加

スピードダイヤルに連絡先を追加するには、**メニュー** > **電話帳** > **スピードダイヤル**に進みます。希望のキーを選択し、**メニュー** > **登録**を選択します。

! 補足

電話帳メニューでは、SIMと本体の間で連絡先をコピーしたり、連絡先を削除したり、電話の利用可能メモリを確認したりすることができます。

本機の使用

本機を利用したデータサービス

本機をデータモデムとして設定することで、データサービスを使用します。GmPRS (最大60/15 kbpsダウンロード/アップロード) を選択します。

最新のアップグレードプログラムをダウンロードしてください (同梱のCDまたはThurayaウェブサイトからダウンロード可能です)。これには衛星モードでデータを使用するための本機とPC (またはノートPC) を接続するために必要なドライバーも含まれています。

ステップ1

設定ファイルを実行します。USBドライバーを含むアップグレードプログラムがインストールされます。

ステップ2

データケーブルを利用して本機とPC/ノートPCを接続し、本機をデータモデムに設定します。

ステップ3

ダイヤルアップ接続を作成し、ダイヤルアップ電話番号フィールドに*99# (アクセスコード番号) を入力してください。ステップ2と3の詳細手順については、サポートCDの「本機接続」マニュアルまたはThurayaウェブサイトをご参照ください。

アクセスポイント名(APN)

3つのAPNが利用可能です。デフォルト設定を変更するには、メニュー > 設定 > GmPRS > APNの順に選択します。

- GET (デフォルト、圧縮なし)
- GETLC (低圧縮、画像が圧縮される)
- GETHC (高圧縮、画像のダウンロードなし)

GETLCとGETHCは、すべてのhttpトラフィックを圧縮するように設計されています。httpを使用しないメールやアプリは、圧縮されずに配信されます。

本機の使用

位置情報

本機の位置情報機能は、さまざまな方法で位置情報を使用できる強力なツールです。GPS、BeiDou、GLONASSをサポートしており、高い精度と柔軟性を備えています。

- 現在地測位: 現在地を測位します。
- 位置情報: 電子コンパスを使用して、特定の位置に移動する中間地点を入力します。
- 位置記録: 設定した間隔(1秒~60分)で位置を記録します。
- 位置情報システム: 使用する位置情報システムを選択します(GPS、GPSとBeiDou、GPSとGLONASS)。

電子コンパスを使用して、GPS感度を確認するには、**メニュー>位置情報>現在地測位**に進み、左/右のナビゲーションキーを使用します。

SOS

本機ではボタンを押して、事前に設定した相手にSOS通話やSOSメッセージを送信することができます。

- 通話先: SOS通話受信者を設定します。
- メール宛先: SOSメッセージ(SMS)の宛先として、最大10件まで登録できます。
- SOSメッセージ(SMS): SMSで送信するSOSメッセージを設定します。
- 送信間隔: SOSメッセージの発信頻度を選択します。(3分ごと~24時間ごと)
- 表示形式: 送信する表示形式を変更します。

SOSが設定され、SOS通話またはSOSメッセージのどちらか1つにチェックして本機の片側のSOSボタンを押すと動作します(SOSアイコンが設定通りにステータスバーに表示されます)。停止するには、ホーム画面から右ソフトキー「SOS停止」を押します。

! 補足

本機の電源がオフの時でも、SOSボタンを2秒間長押しするとSOS機能が有効になります。

本機の使用

トラッキング

本機では、事前に設定した連絡先に定期的に位置情報をSMSで送信することができます。

- 宛先:最大10人のメッセージ(SMS)受信者を設定します。
- 測定間隔:メッセージの送信頻度を選択します(3分ごと〜24時間ごと)。
- 表示形式:受信する表示形式を変更します。



補足

設定後のトラッキングの有効/無効化:

- 有効にするには、ホーム画面から右ソフトキーを長押しするか、メニュー > **トラッキング** > メニュー > **トラッキング開始** (トラッキングアイコンがステータスバーで点滅開始します)を選択します。
- 使用中に無効にするには、ホーム画面から右ソフトキーを押すか、メニュー > **トラッキング** > メニュー > **トラッキング停止**を選択します。

その他の機能

本機には、便利な機能が含まれています。

ツール

カレンダー、電卓、メモ帳など便利な機能が利用できます。

時計

日時の設定、アラーム設定、ストップウォッチと世界時計が使用できます。

着信通知

本機は、衛星信号が弱く着信自体を受けられない場合でも、着信通知を受け取ることができます。本機がポケットの中にあり、SATアンテナを格納して信号が弱いときに、特に役立ちます。

- 1 本機SATアンテナを完全に伸ばします。
- 2 衛星からの電波受信を確認します。
- 3 信号強度が十分強くなったら、ディスプレイの警告が表示されなくなります。**開始**キーを押して、通常どおり電話を受けることができるようになります。

本機の使用

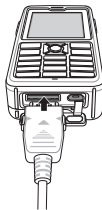
ソフトウェアのアップグレード

Thurayaが新規ソフトウェアバージョンをリリースした場合に限り、ソフトウェアのアップグレードが必要となります。アップグレードを実行する前に、アップグレードが必要かどうか、現在のソフトウェアバージョンを**セキュリティ > ソフトバージョン**から確認してください。

- 1 PCにてwww.thuraya.comから最新の本機アップグレードファイルをダウンロードして、インストールします。
- 2 www.thuraya.comから最新の本機ソフトウェアをダウンロードします。
- 3 完全に充電した電池パックを使用して、本機の電源をオンにします。
- 4 データケーブルを使用して、PCと本機を接続します。
- 5 PCのデスクトップにある本機アップグレードアイコンをダブルクリックすると、プログラムのアップグレードが開始されます。

ソフトウェアアップグレードの際のデータケーブルの接続方法:

本機の下部にあるカバーを開き、しっかりと外部接続端子にデータケーブルを接続します。



その後、データケーブルのもう一方の側をPCに接続します。

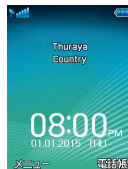
本機の使用

よく使う機能

機能	操作
キーパッドのロック/ロック解除	#キーを長押しして、キーパッドをロックします。 ロック解除するには、右ソフトキーを押して3秒以内に#キーを押します。
マナーモード	ホーム画面で*キーを長押しして、マナーモードと通常モードを切り替えます。
現在位置の確認	メニュー > 位置情報 > 現在地測位に進みます。
文字入力モードの変更	*キーを長押しすると、数字入力モードと文字入力モードを切り替えます。
言語変更	メニュー > 設定 > 言語設定に進みます。
スピーカーホン	通話中、#キーを長押しすると、スピーカーホンと受話器が切り替わります。
通話履歴	最近通話した番号を表示するには、開始キーを押します(またはメニュー > 発着信履歴に進む)。

ショートカット

次のメニューはホーム画面からナビゲーションキーを使用して、直接アクセスできます。



ツール: ↑キーを押す
電話帳検索: ↓キーを押す
位置情報: ←キーを押す
メール: →キーを押す

本機の管理

定期的に通話テストを実施し、本機が正常に動作するかどうかを確認してください。

- 特にしばらく使用していない場合は、定期的に通話テストを実施してください。本機から無料番号11112をダイヤルし、正しく動作することを確認します。
- 必要なときに使えるように、本機を月に一度充電してください。充電完了後は、速やかに充電器を外してください。

トラブルシューティング

問題	解決方法
本機はネットワークに接続できず、画面には「ネットワーク未接続」と表示される。	<ul style="list-style-type: none">● 衛星の方向に高層ビルや高い木、山などの障害物がない場所を探して移動してください。
場所アイコンが点滅または本機に「測位情報の有効期限が切れています」と表示される。	<ul style="list-style-type: none">● 本機の場所情報を更新しています。本機の電源がオンになると、これが自動的に行われます。
本機に「SIMカードを挿入してください」と表示される。	<ul style="list-style-type: none">● SIMカードに汚れや破損がないことを確認し、SIMカードの取り外しと再挿入を試してください。● 間違ったPUKコードを入力した場合、SIMカードが使用停止になることがあります。
本機が応答不能または応答が遅くなる。	<ul style="list-style-type: none">● 本機を再起動してください。● それでも問題が解決しない場合には、メニュー > セキュリティからリセットします。<ul style="list-style-type: none">- 設定リセット: 電話帳やメールなど個人設定を消去せずに、電話をリセットできます。- 初期化: 本機を出荷時の設定に復元します。電話帳やメールなど保存されたすべてのデータが削除されます。
セキュリティコードを忘れた。	<ul style="list-style-type: none">● 工場出荷時のセキュリティコードは0000です。● 番号を変更し、忘れた場合はお問い合わせ先 (P.26) までご連絡ください。
PIN/PUKコードを忘れた。	<ul style="list-style-type: none">● 間違ったPINコードを3回入力すると、SIMカードがロックされます。ロック解除には、PUKコードの入力が必要です。● PUKコードを入力後、新しいPINコードを設定できます。● PUKコードを忘れた場合、お問い合わせ先 (P.26) までご連絡ください。

本製品の比吸収率 (SAR) について

この機種【501TH】の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準および国際ガイドラインに適合しています。

電波の人体吸収に関する国の技術基準※1は、人体の近くで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) について、2W/kgの許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分に安全な値として設定されており、世界保健機関 (WHO) と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が示した国際的なガイドラインにおける値と同じ値です。

本携帯電話機【501TH】の側頭部におけるSARの最大値は0.415W/kgであり、また下記の方法※3により身体に装着した場合のSARの最大値は0.627 W/kg※2です。これらは、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARIに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満たしています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通信等を行っている状態では、通常SARIはより小さい値となります。

側頭部以外の位置におけるご使用方法※3

この携帯電話機は、側頭部以外の位置でも使用可能です。キャリングケース等のアクセサリをご使用になるなどして、身体から1.0センチ以上離し、かつその間に金属(部分)が含まれないようにすることで、この携帯電話機は電波の人体吸収に関する国の技術基準および電波防護の国際ガイドラインに適合します。

- ※1 技術基準については、電波法関連省令 (無線設備規則第14条の2) に規定されています。
- ※2 この値は同時送信の値です。

世界保健機関は、『携帯電話が潜在的な健康リスクをもたらすかどうかを評価するために、これまで20年以上にわたって多数の研究が行われてきました。今日まで、携帯電話使用によって生じるとされる、いかなる健康影響も確立されていません。』と表明しています。

また、SARIについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい場合は、下記のホームページをご参照ください。

- ・ 総務省のホームページ
<http://www.tele.soumu.go.jp/j/sys/ele/index.htm>
- ・ 一般社団法人電波産業会のホームページ
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>

電波ばく露の影響に関する情報として、欧州における基準を掲載しています。詳細は「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」をご参照ください。

「欧州における電波ばく露の影響に関する情報」

本携帯電話機【501TH】は、国際的ガイドラインが定める電波の許容値を超えないことが確認されています。このガイドラインは、独立した科学機関である国際非電離放射線防護委員会 (ICNIRP) が策定したものであり、その許容値は、使用者の年齢や健康状態にかかわらず十分に安全な値となっています。携帯電話機から送出される電波の人体に対する影響は、比吸収率 (SAR: Specific Absorption Rate) という単位を用いて測定します。携帯機器におけるSARの許容値は2W/kgで、本携帯電話機の側頭部におけるSARの最大値は0.415W/kgです。本書に記述する所定の方法 (※3) で使用したこの場合のSARの最大値は0.627W/kgです。

世界保健機関は、携帯機器の使用に関して、現在の科学情報では人体への悪影響は確認されていないと表明しています。また、電波の影響を抑えたい場合には、通話時間を短くすること、または携帯電話機を頭部や身体から離して使用することが出来るハンズフリー用機器の利用を推奨しています。さらに詳しい情報をお知りになりたい場合には世界保健機関のホームページをご参照ください。

世界保健機関 (英文のみ)
<http://www.who.int/emf>

SoftBank スマートフォン 各機種 の電波比吸収率 (SAR) 一覧はこちら
<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/>

Specific Absorption Rate (SAR) for This Product (for Japan)

This mobile phone【501TH】meets Japanese technical regulations*and international guidelines for exposure to radio waves.

The Japanese technical regulations for exposure to radio frequency energy established permitted levels of radio frequency energy, based on standards developed by independent scientific organizations through periodic and thorough evaluation of scientific studies. The regulations employ a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit is 2 watts/kilogram (W/kg) averaged over ten grams of tissue. The limit includes a substantial safety margin designed to assure the safety of all persons, regardless of age and health. The value of the limit is equal to the value given in international guidelines recommended by ICNIRP**, which is in collaboration with the World Health Organization (WHO). The highest SAR value for this mobile phone is 0.415 W/kg when tested for used at the ear, and 0.627 W/kg*** when worn on the body in the below manner****. While there may be differences between the SAR levels of various phones and at various positions, all phones meet the Japanese technical regulations. Although the SAR is determined at the highest certified power level, the actual SAR of the phone during operation can be well below the maximum value.

Use at positions other than at the ear****

This mobile phone may be used at positions other than at the ear. By using an accessory such as a belt clip holster that maintains a 1.0 cm separation with no metal (parts) between it and the body and the mobile phone, this mobile phone will comply with international guidelines for radio wave protection.

*The technical regulations are provided in Article 14-2 of the Ministry Ordinance Regulating Radio Equipment.

**International Commission on Non-Ionizing Radiation Protection

***The value is under simultaneous transmission use conditions.

The World Health Organization has announced that "A large number of studies have been performed over the last two decades to assess whether mobile phones pose a potential health risk. To date, no adverse health effects have been established as being caused by mobile phone use."

For more information about SAR, see the following websites:

- Ministry of Internal Affairs and Communications (MIC)
<http://www.tele.soumu.go.jp/e/sys/ele/body/index.htm>
- Association of Radio Industries and Businesses (ARIB)
<http://www.arib-emf.org/01denpa/denpa02-02.html>
(Japanese)

This mobile phone [501TH] is confirmed to comply with guidelines relating to effects of radio wave exposure as set forth by the Council of Europe (CE). Refer to the following.

European RF Exposure Information

Your mobile device is a radio transmitter and receiver. It is designed not to exceed the limits for exposure to radio waves recommended by international guidelines. These guidelines were developed by the independent scientific organization ICNIRP and include safety margins designed to assure the protection of all persons, regardless of age and health. The guidelines use a unit of measurement known as the Specific Absorption Rate, or SAR. The SAR limit for mobile devices is 2.0 W/kg and the highest SAR value for this device when tested at the ear is 0.415 W/kg*. As mobile devices offer a range of functions, they can be used in other positions, such as on the body as described in this User Guide****. In this case, the highest tested SAR value is 0.627 W/kg*.

*The tests are carried out in accordance with international guidelines for testing.

The World Health Organization has stated that present scientific information does not indicate the need for any special precautions for the use of mobile devices. They note that if you want to reduce your exposure then you can do so by limiting the length of calls or using a hands-free device to keep the mobile phone away from the head and body.

付録


World Health Organization
<http://www.who.int/emf>

List of Specific Absorption Rates (SAR) for radio waves by
smartphone/3G model

<http://www.softbank.jp/mobile/support/sar/> (Japanese)

RoHS準拠

本製品は、EU RoHS指令に準拠しており、無鉛はんだのペーストや部品を使用して製造されています。

CE 0984  クロスタウト・ホイールドビンマークは、欧州連合 (EU) 内で製品を廃棄する時には分別収集が必要であることを示しています。これらの製品を地方自治体の一般廃棄物として捨てないでください。

THURAYAの商標は、Thuraya Telecommunications Companyが単一で所有する独占的な財産です。
Copyright © 2015 Thuraya Telecommunications Company. All rights reserved.

本書の内容は将来、予告無しに変更することがございます。

印刷国 韓国

付録

仕様

■ 本体

項目	説明
質量(電池パック装着時)	約212g
連続通話時間	約9時間
連続待受時間	約100時間
充電時間	約3時間
サイズ(H×W×D)	約128 X 53 X 27mm
最大出力	2W

■ 電池パック

項目	説明
電圧	3.7 V
使用電池	リチウムポリマー電池
容量	3000mAh
サイズ(H×W×D)	約90.5 × 35.8 × 13.1mm

■ 充電器

項目	説明
入力	AC100V-240V 0.25A 50/60Hz
出力	DC5.0V 1.5A
充電温度範囲	0℃～40℃
サイズ(H×W×D)(変換コネクタ装着時)	本体:約65×36×59mm
ケーブルの長さ	約1.2m

使用材料

■ 本体

使用箇所	材質/表面処理
外装(裏面)	PC樹脂/UV塗装
外装(表面)	PC樹脂/UV塗装
SOSボタン	PC樹脂
SOSボタンカバー	ウレタン
外部接続端子	ステンレス
ねじ	SWCH 18A / 亜鉛メッキ
キャップ(ねじ部)	シリコーンゴム
キャップ(RFコネクタ)	シリコーンゴム
アンテナ	ポリプロピレン

■ 電池パック

使用箇所	材質/表面処理
外装	PC樹脂/UV塗装

■ 充電器(変換コネクタ含む)

使用箇所	材質/表面処理
外装	PC樹脂
プラグ	銅/ニッケルメッキ
ケーブル	ポリ塩化ビニル
アダプタ	銅/ニッケルメッキ

お問い合わせ先

お困りのときや、ご不明な点などがございましたら、お気軽に下記お問い合わせ窓口までご連絡ください。

ソフトバンク国際コールセンター

お問い合わせおよび盗難・紛失のご連絡

<国内から>

一般電話・携帯電話から ☎ 0088-24-0018 (無料)

<海外から>

一般電話・携帯電話から +81-92-687-0025 (有料)

※ ソフトバンク携帯電話からは無料

ソフトバンク衛星電話から +81-92-687-0025 (無料)

故障受付窓口について

ソフトバンク衛星電話の故障受付窓口は日本国内のみとなり、海外にはございません。

ソフトバンク衛星電話を海外でご利用の際、故障した場合には、故障品を日本国内にお戻しになり、日本国内のソフトバンクショップまたはオンライン修理受付にて修理申込みいただきますようお願い申し上げます。なお、弊社オンライン修理受付は、国外への発送には対応しておりません。

発売元 ソフトバンク株式会社
製造元 Asia Pacific Satellite communications Inc.
輸入元 Thuraya Telecommunications Japan 株式会社

2015年11月 第1版

www.thuraya.com